

国語科学習指導案

授業者

1 日時 平成

2 場所

3 学年

4 単元名 事実と意見「モアイは語る―地球の未来」(光村図書)

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、主として中学校学習指導要領(平成20年)国語科第2学年の指導事項、「C読むこと」の内容を受けて設定されている。

「C読むこと」

(1)ウ 文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめること。

(1)エ 文章に表れているものの見方や考え方について，知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。

本単元で付けたい力は、文章の構成や展開，表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめ、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ力である。

本教材は、モアイを研究することによって明らかになった絶海の孤島イースター島の歴史、モアイを作るために森林の伐採を続け、結果的にイースター島の文明が崩壊してしまった事実、同じ運命をたどらないための読み手に向けた筆者の意見が、事実や事例を交えながら述べられた説明的文章である。イースター島の古代住民の象徴であるモアイ像が、森を消滅させ、文明を滅ぼした象徴でもあったという発見と論理は衝撃的であり、それが人類・地球の未来への警鐘というメッセージに展開している点や、宇宙空間で孤立した地球と絶海の孤島・イースター島の環境とを対比させた認識を、文明崩壊の危機というメッセージに展開している点に魅力がある内容になっている。

構成は「序論・本論・結論」の三つの大きなまとまりに分けられる。序論で示した問題提起に対し、本論で根拠をあげながら解決していき、結論で筆者の主張を述べるという説明的文章の典型的な型を学習するのに適していると考えられる。また、序論で問題提起されたことが本論で順番に解決されるので、問いと答えがとらえやすい構成になっている。

記述の特徴の1つ目は、事実を根拠として意見を述べていることである。文末表現に着目しながら読むことで、事実と意見を区別してとらえることができる。2つ目は、比喩表現を巧みに用いて表現していることである。比喩表現の意味を考えさせることで、筆者の意図をとらえることができる。

また、環境問題やエネルギー問題などはこれまでに学習をしてきており、身近に取り上げられる内容でもある。自分の知識や体験と関連付けて地球の未来を考え、自分の意見を持つことができる教材である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は1学期に事実と考察を読み分け、段落の関係を構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えを持っている。

本学級の生徒の「つけたい力」に対する実態把握をするため、なった。結果は次の通りである。

(レディネステスト

内 容	正答 (%)
①接続語の把握	67%
②内容の把握	48%
③段落構成の把握	55%
④要旨の把握	61%
⑤筆者の意見に対して自分の考えをもつ	51%

内容の把握や段落構成の把握に特に課題がある。これは、段落相互の関係が理解できていないため、筆者の論の展開がつかめず、内容が把握できていないのだと考える。また、筆者の意見に対して、自分の考えを持つことができていない生徒も多く、無回答も2割近くいる。これは、これまでに筆者の書いた文章や考え方に対し、自分の意見をもつという読みを経験してきていないことが考えられる。また、感想をもつことはできても、自分の問題としてとらえ考えていないことが原因と考えられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、言語活動として「筆者に地球の未来について意見を伝える」ことを仕組む。そのために、文章の構成や展開、表現の仕方について筆者の意図を考えさせ、筆者の考えと自分の知識や体験を関連付けながら、地球の未来について自分の問題としてとらえさせるようにしていく。まず、「出会い」の場面で「題名読み」をし、内容や表現の仕方に興味関心をもたせながら、読み進めていく。

本教材の読み取りにおいては、次の2点に重点をおく。

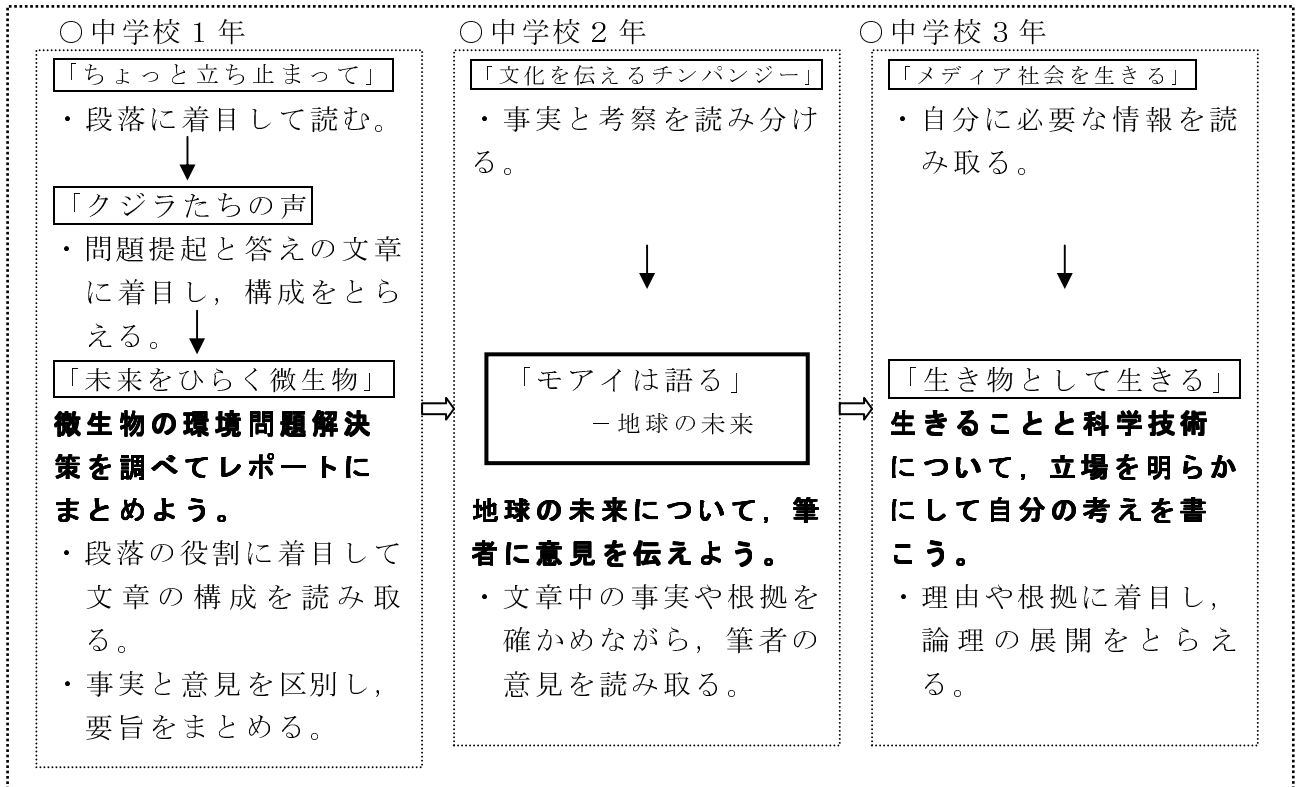
①段落の構成をおさえ、内容を理解する。

- ・文末表現に着目して、事実と意見を区別させる。
- ・接続語や指示語に注意して論の展開を読み取らせる。
- ・問題提起と問題解決の関係を把握させる。

②筆者の論の述べ方に自分の考えをもつ。

- ・筆者が工夫している所、筆者の意図やその効果を考えさせる。
- ・筆者に意見を書くことで、筆者の考え方を自分の考え方と比べたり置き換えたりしながら考えさせる。

6 単元・内容の関連



7 単元の目標

- 論理的な文章を読む楽しさを味わい、新たな発見や驚きを通じて、地球の未来に対して関心をもって読み進めようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- ◎筆者の文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の意見をもつことができる。(C読むこと(1)ウ)
- ◎文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。(C読むこと(1)エ)
- 語句の効果的な使い方について理解を深め、表現に役立てることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(イ))

8 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
「あなたが語る地球の未来」－筆者に意見を伝えよう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・事実に基づいて意見を述べるといった論理的な文章を読む楽しさを味わい、新たな発見や驚きを通じて、地球の未来に対して関心をもって読み進めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の文章の本論のイースター島の出来事をもとに、結論で地球の未来を述べる構成や展開、表現の仕方に対し、根拠を明確にして発表している。 ・地球の環境に関して、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現や、イースター島と地球を比較する語句など、語句の効果的な使い方について理解を深め、表現に役立てている。

9 単元指導計画（全 7 時間）

次	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	評価の観点			評価の方法
				関 ・ 意 ・ 態	読 む	言 語	
出 会 う	全文を通読し、 作品の概略をつか み学習の見通しを もつ。	1	題名から内容を想像 し、モアイやイースター 島について知り、筆者に 意見を書くことに関心を もっている。	○			観察 ノート 発言
追 究 ・ 表 現 す る	段落に注目し、 全体の文章構成を つかむ。	1	序論・本論・結論の構 成になっていることを読 み取っている。		○		観察 ノート 発言
	問題提起と問題 解決の関係をつか む。	1	序論と本論の問題提起 が重なっており、順次問 題解決がされる展開を読 みとっている。		○		観察 ノート 発言
	文末表現に着目 し、事実と意見の 部分を読み分け る、筆者の意見を まとめる。	1	文末表現に着目して、 事実と意見を区別し、要 旨をまとめることができ る。		○		観察 ノート 発言
	筆者の文章の構 成や展開、表現の 仕方に対して、自 分の意見をもつ。	1 本 時	筆者の論の展開の効果 に気づき、イースター島 の出来事を取り上げた理 由をまとめて書いている。		○		観察 ノート 発言
生 か す	地球の未来に対 する自分の考え を、筆者に伝える 文章を書く。	1	文章に表れているもの の見方や考え方につい て、知識や体験と関連付 けて自分の考えをまとめ て書いている。		○		ノート
	交流し合い、考 えを深める。	1	筆者に伝える文章をグ ループで読み合い、語句 や内容について評価し合 っている。			○	観察 ノート 発言

10 本時の目標

筆者がイースター島の出来事を取り上げた理由を文章構成や叙述を根拠にして読みとることができる。

11 準備物

話し合いシート，ワークシート，ホワイトボード

12 本時の評価規準

筆者がイースター島の出来事を取り上げた理由を文章構成や叙述の特徴にふれながら，ノートにまとめて書いている。

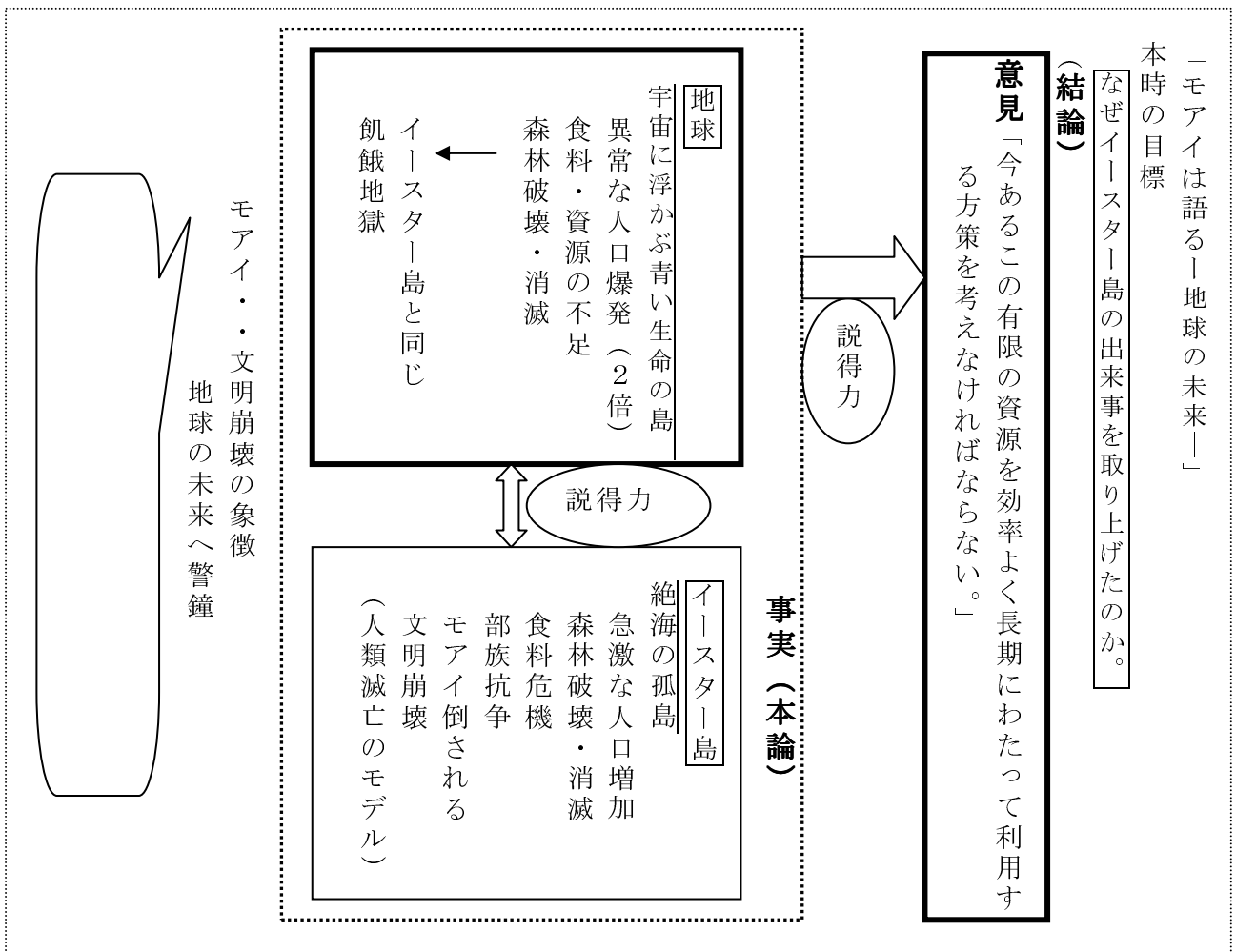
13 学習の展開（本時 5 / 7 時間）

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点（○）と評価及び評価方法（※）
つかむ 5分	1 問題提示 ○本時の課題を確認する。 課題	○「イースター島のこのような運命」とは，どんな運命のことでしたか。 ・人口増加の結果，森が消滅し，食料危機や争いによって文明が崩壊した。 ○筆者が主張していることはどんなことですか。 ・「わたしたちは，今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく，長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」	○表を貼り，イースター島の出来事を確認する。
		なぜイースター島の出来事を取り上げたのか。	
考える 10分	2 自力解決をする。 ○音読をする。 ○イースター島の出来事を取り上げた理由を考える。	○音読をしましょう。 ○地球とイースター島のどこが似ているのか見つけながら，筆者がイースター島の出来事を取り上げたのはなぜか考えましょう。	○ノートに記入させる。 ○イースター島の出来事の表を見ながら比較して考えさせる。

<p>深める</p> <p>30分</p>	<p>3 友達の考えから学ぶ。</p> <p>○小グループで話合う。</p> <p>○発表する。</p> <p>○イースター島の出来事を取りあげる効果について考える。</p> <p>○題名の意味を考える。</p>	<p>○小グループで話合しましょう。</p> <p>○発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口増加の現状が似ていて，地球の方が二倍の割合で増加しているから。 ・森林の破壊が進むと，地球もイースター島のように，食料・資源の不足の可能性があるから。 ・絶海の孤島・宇宙に浮かぶ生命の島と例えていて，どこからも食料を運んで来られないことが考えられる。 ・地球にも文明崩壊の危険があると考えたから。 ・イースター島の出来事が，現在や未来の地球に問題をなげかけているから。 <p>◎イースター島の出来事を取り上げることでどんな効果がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の出来事は人類滅亡のモデルになっている。 ・イースター島の出来事を取り上げることで，結論に説得力をもたせようとしている。 ・本論でイースター島の例を挙げ，筆者の主張である結論につなげる効果的な展開になっている。 <p>○なぜ「モアイは語る～地球の未来～」という題名にしたのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の文明崩壊の道筋が地球と重なり，地球の未来に大きな問題をなげかけているから。 ・かつて文明の象徴だったモアイが，文明崩壊の象徴となって，地球の未来に警鐘を鳴らしているから。 <p>○モアイはどんなことを語ると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有限の資源を効率よく長期にわたって利用する方策を考えなくてはならな 	<p>○役割を決め話合わせ，ホワイトボードにまとめさせる。</p> <p>○根拠を明確にして発表させる。</p> <div data-bbox="1150 645 1412 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比べる イースター島と地球を比べることで，類似点を見出させ，筆者の意図に気づかせる。</p> </div> <p>○筆者の主張を確認する。</p> <p>○題名の意味を確認し，モアイが地球の未来に警鐘を鳴らしていることをおさえる。</p> <p>○ノートに記入させる。</p>
-----------------------	--	--	---

		い。 <ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の人達は、森林が消滅する前に手を打つべきだったな。 ・地球の現状は、もっとたくさん問題があるから、手遅れにならないようにしないとイケない。 	
ま と め る 5 分	4 振り返る ○本時の学習をまとめる。 ○次時の予告	○筆者がイースター島の出来事を取り上げた理由をまとめて書きましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>筆者は、イースター島の出来事を人類滅亡のモデルとして取り上げ、筆者の主張である結論に説得力をもたせようとしている。</p> </div>	※評価規準及び評価方法 ・筆者がイースター島の出来事を取り上げた理由を書いている。 (ノート)

14 板書計画



レディネステスト (長尾 真)

「新しく学問を志す若者たちへ」より)

1 空欄 A にあてはまる適当な言葉を次からそれぞれ
選びなさい。

2 アしかし イすなわち ウさらに エしたがって
「負の遺産」は、どのような方法で解決する必要があるか。空
欄に当てはまる七字の言葉を、文中から抜き出さない。
・負の遺産は [] によって解決する以外に方法はない。

3 [3] 段落のはたらきとして適当なものを次から一つ選びなさい。
ア前の段落の内容から当然考えられる結果を説明している。
イ前の段落の内容について例を挙げて説明している。
ウそれまでの内容を受けて、筆者の意見をまとめている。
エそれまでの内容とは異なる話題を新たに提示している。
4 この文章は学問を志す若者への筆者からのメッセージの
一部です。筆者が述べている内容と最も合っているもの
を、次から一つ選びなさい。
ア二十一世紀に負の遺産を残した二十世紀を反省し、研究す
る努力をしてほしい。
イ情報化社会をさらに進展させ、世界の一体化を図る努力を
してほしい。
ウ深刻な問題を解決するため、新たな科学技術を発展させる
努力をしてほしい。
エいろいろな活動をとおして、社会の構造を変革させる努力
をしてほしい。

5 筆者の意見に対するあなたの考えを書きなさい。

ポストテスト (鷲谷いづみ「生態系をよみがえらせる」より)

1 空欄 A にあてはまる適当な言葉を次からそれぞれ選びな
さい。

2 アしかし イそして ウすなわち エつまり
イチヨウ一種が生き残った具体的な理由は何か。文中から八字
で抜き出さない。

3 [3] 段落のはたらきとして適当なものを次から一つ選びなさい。
ア前の段落の内容を受けて考えられる結果を説明している。
イ前の段落の内容を受けて例を挙げて説明している。
ウそれまでの内容を受けて、筆者の意見をまとめている。
エそれまでの内容とは異なる話題を新たに提示している。
4 この文章で筆者が最も言いたい事は何か。次から一つ選びなさ
い。
ア地球上の生物はほとんど世界各地に化石として
残されている。
イ地球上の生物はかつての衰退の結果を伝えている
ものである。
ウ地球上の生物は適応進化の主役の座にあるもの
ばかりである。
エ地球上の生物はそれぞれがかけがいのない
歴史的存在である。

5 筆者の意見に対するあなたの考えを書きなさい。

単元構想図

「あなたが語る地球の未来」一筆者に意見を伝えよう。(全7時間)

出会う
(1時間)

「モアイは語る」の題名から内容を想像し、学習の目当てをもとう。①

モアイやイースター島について知り、筆者に意見を書くことに興味をもつ。①

モアイは何を語っているのだろう。筆者に何を伝えられるだろう。

追究・表現する
(4時間)

モアイの謎を読み説き、筆者の論の述べ方に自分の意見をもとう。② ③ ④ ⑤

段落構成や、内容、筆者の主張を理解し、筆者の論の述べ方に自分の意見をもつ。(本時4 / 4)

序論・本論・結論の三つのまとまりになっているのだね。②

問題提起と答えの関係がとらえやすいよ。③

事実を根拠に述べると説得力があるね。④

イースター島の出来事は、地球の未来を考える筆者の意見の根拠になっているね。⑤

生かす
(2時間)

筆者に、あなたの考える地球の未来について書こう。⑥ ⑦

筆者に伝えるために、地球の未来に対する自分の意見を書き、友達と交流し合い考えを深めよう。

エネルギー資源の有効利用について考えをまとめて書くことにしよう。⑥

自分では気づかなかったことも、気づくことができたよ。⑦